

就労移行支援事業所  
「Iビリーブ」  
西区桜木町7-45-2-101  
(定員20名/2年)

2022年4月  
岩谷学園直営「Iビリーブ」が2つになって、  
一人ひとりがもっと利用しやすくなりました。

多機能型事業所「Iビリーブ」

まわりの雰囲気、なじめない人  
働きたいけど、うまくいかない人  
を応援します

◆私たちの【就労移行支援】  
「Iビリーブ 新横浜」は、こういうところです。

\*今までの場所で、  
自立訓練を開始

就労移行を 広さ2倍の  
「新横浜」に移転



◆待ちに待った【自立訓練 (生活訓練)】  
「Iビリーブ 横浜高島町」は、こういうところです。

どんな人向け?	何をしますの?
1. 次のいくつかに 当てはまる人。 *毎日の通所が むずかしい *話すことが、とても大変 *集中力が 続かない *人と楽しむことが、少ない *自分で 決められない *体調や感情の波が、大きい 2. とにかく、何とかしたい人。 3. 相談相手や友達が ほしい人。 4. だれかの 役に立ちたい人。	① <u>みんなと、一緒になくて良い。</u> ② <u>未来のことより、今できること。</u> <u>アイデアを出して、やってみる。</u> ③ <u>思い切り、遊ぶプログラム。</u> <u>外出プログラム。</u> ④ <u>集中できる 作業は何だろう。</u> <u>ものづくり系、調理、絵を描く。</u> ⑤ <u>職員とのトーク。交換ノート。</u> <u>書くこと、話すこと。</u> ⑥ <u>生活を立て直して、働く人に。</u>

【就労定着支援 とは…】  
\*就職した後も 長く働けるように、  
職場の様子を 見せてもらって、  
仕事や人に 慣れるよう話し合います。



【自立訓練 プログラム(例)】

\*みんな一緒ではなく、このほかにも、いろいろあって選べます。 \* は座学、 は、 は、 は、 おたのしみ。

	月	火	水	木	金
9:30~9:50	朝そうじ、朝礼				
9:50~10:50	作業/洗車	作業	スキルアップ*	作業	調理/紙折り
11:00~12:00	作業/PC	生活を考える		トークタイム	
12:00~13:00	昼休み		日誌記入、終礼	昼休み	
13:00~14:00	映像と音楽	目的ある外出		創作活動	調理/紙折り
14:10~15:10	地域清掃		職員会議		ポスティング
15:10~15:30	日誌記入、終礼			日誌記入、終礼	

\*スキルアップ：イラスト、対人ゲーム、モノ作り、ウォーキング、図書館、お菓子作り、推し・オシャレなどの部活動です。

『Iビリーブ』とは『信じる』ということ。  
『信じあえる場所』であるために、  
職員は次の『お約束』をします。

- ① 呼び捨てにせず、さん付けで 呼び合います。
- ② 本人を変えようと指導せず、経験することを支援します。
- ③ ご本人に伝わる言葉や方法+本人の思いを考えます。
- ④ ご本人なりの社会適応を 支援します。
- ⑤ 諸問題を 本人や家庭のせいとせず、解決の道をさがし、作り出します。
- ⑥ 対等で 信じあえるルールを作ります。

＜どんな時でも、笑顔とユーモアを 忘れません＞

【そこは どのような? (Q&A)】

- Q1. どんな人が 利用していますか?  
⇒18歳から30歳ぐらいの知的、精神、身体どれかの障害者手帳を持つ人たちで。男性が少し多いです。
- Q2. 就労移行からの就職率と、就職先を教えてください。  
⇒開所4年間で42人が退所し、就職者は28人→就職率67%です。  
カラダを動かす作業系が多く、転職=ステップアップする人もいます。
- Q3. 自立訓練も2年までというのが、ちょっと不安です。  
⇒4月から利用という決まりはなく、少しずつ体験利用してから、自分のタイミングで利用開始することを、おススメします。
- Q4. 学校やバイトに行きながらでも、利用できますか?  
⇒学校は、授業等と かぶらなければ大丈夫。バイトしている人は不可。18歳以上65歳未満の人が利用対象です。

どんな人向け?	何をしますの?
1. 確実に就職をして、長く仕事を続けて、自立したい人。 2. 自分に合う 就職をするため、自分に力をつけたい人。 3. 離職して、再就職をしたい人。やり直したい人。 4. 専門学校などに 行ったけど、その先が つながらない人 5. 友だちを作って、笑いあって、一緒に就職を めざしたい人。	① 作業、座学、体力作り、スキルアップで、自分の説明ができる くらいの力をつけます。 ② 本人に合っているような 職場の見学や実習を します。 ③ 本人が 気にしている部分を、相談しながら、前に進めます。 ④ 体調や生活部分のお手伝いを 医師や関係者と 行います。 ⑤ 自分で気づく 経験を重ねます。

【就労移行 プログラム(例)】

\*このほかにも、いろいろなプログラムがあります。

	月	火	水	木	金
9:20-9:40	朝そうじ、朝礼				
9:40-10:50	作業	作業	体力作り /スキルアップ	作業	作業
11:00-12:10	作業/PC	就職の準備		作業	幸せって何
12:10-13:00	昼休み		日誌・終礼	昼休み	
13:00-14:10	トークタイム	作業	職員会議	新しい自分	ホスティング
14:20-15:30	地域清掃	作業		作業	作業
15:30-15:45	日誌記入・終礼			日誌記入・終礼	

☆個別支援計画を立てて、ご本人・ご家族と相談しながら 就労支援に入っていきます。  
☆コロナの状況が悪化すると、午前午後の分散通所となります。(自立訓練も同じ)

自分を見つけよう

2018年4月、「Iビリーブ」は就労移行支援事業所として高島橋のたもとに開所しました。「受けいれて、社会につなぐ」が私達の支えでした。  
2022年4月、2つ目の「Iビリーブ」が誕生しました。岩谷学園高等専修学校が歩んできたように、就労移行なんてまだまだ…という人たちが、うつむいて口を閉ざす必要のない場所を、作りましょう。  
「自分を見つけよう」。あなたも私も。安心して、誰もが声を出しあえる場所。それが私たちの願いです。



所長兼サービス管理責任者  
甲方(こうかた)裕之 所長

学校法人岩谷学園 『Iビリーブ』多機能型事業所

「Iビリーブ 新横浜」 ☎045-620-8207

「Iビリーブ 横浜高島町」 ☎045-620-8383

受付時間:9:30-16:30(土日祝除く)

<https://i-blv.jp>

アイビリーブ 就労移行支援 検索